

一般財団法人いばらき盲導犬協会 平成 31 年度（令和元年度）事業報告書

1. 訓練業務／認定業務

以下の業務は、本法人の本来の業務（盲導犬育成）としておこなったものである。

1.1 訓練陣容の強化

2 名の歩行指導員経験者と業務委託契約を結び、繁殖、訓練、フォローアップ業務の充実を図った。

1.2 候補犬の購入等

合計で 4 頭の子犬を、盲導犬、または繁殖犬の候補犬として購入した。余所の使役犬育成団体より、1 頭の成犬を譲受した。

1.3 繁殖

余所の使役犬育成団体の種牡と所有する台牝の交配をおこなった（令和 2 年 4 月出産）。

1.4 研修会・訪問指導

子犬飼育ボランティアを対象に毎月 1 回の研修会を開催、また頻回に各家庭を訪問して個別の指導をおこなった。

1.5 犬の訓練（基本訓練、誘導訓練）及び飼育（通院等の健康管理を含む）

8 頭の犬に対して、盲導犬の訓練犬としての飼育、及び訓練をおこなった。

1.6 フォローアップ

盲導犬使用者全員に対して現地での定期フォローアップをおこなった。これに加え、2 名の使用者に対し、現地での臨時的フォローアップをおこなった。

1.7 引退

1 頭の盲導犬を引退させた。

1.8 後進の育成・指導

研修生 1 名の教育をおこなった。

一覧：訓練／購入／繁殖の状況（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）

訓練犬			新規獲得（購入）
14			4
盲導犬認定	進路変更	訓練継続	新規獲得（譲受）
0	8	4	1

※ 訓練犬のうち 2 頭は（公財）日本補助犬協会へ返却

一覧：保有犬の状況（令和2年3月31日現在）

盲導犬	訓練犬	繁殖犬	広報犬	子犬	合計
3	4	2	3	3	15

※ 子犬1頭が早期訓練開始

2. 広報啓発業務

以下の業務は、日本における盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業に対して社会の理解を求める目的でおこなったものである。

2.1 学習会・見学会の開催

一般の希望者を募り、定期的に施設内で学習会・見学会を開催した。臨時の学習会を含め8回の開催となった。主な参加者は次のようであった：一般希望者（主に家族での参加）

2.2 出張講話・デモンストレーション

視覚障害と盲導犬についての講話（一部、実演を含む）を、依頼を受けて8回おこなった。講話の主な対象者は次のようであった：企業（新入）社員、動物専門学校の学生、小学生、中学生、高校生、父兄、教員、社会福祉協議会やその他の社会福祉法人、生涯学習センターが主催する福祉関連イベントの参加者、ライオンズクラブ会員

2.3 イベント参加

行政、企業、団体、個人が開催するイベントに職員、役員、広報犬が参加し、広報啓発活動を展開した（約30回）。主な参加先は次のようである：県内のライオンズクラブの活動、企業や行政が主催する地域の祭やイベント、協力企業・協力団体が参加するイベント（合同出展）

2.4 イベントの開催

本法人が主体となり、視覚障害と盲導犬に関する啓発を主たる目的としたイベントを次のように開催した。

2.4.1 盲導犬写真パネル展（令和2年3月2日～3月6日／水戸市／対象：500人）

茨城県保健福祉部障害福祉課の協力のもと、茨城県庁（県民ホール）にて「盲導犬の訓練」をテーマとした写真パネルの展示をおこない、県職員や来庁者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。

2.4.2 盲導犬写真パネル展（令和元年7月18日～23日／水戸市／対象：2000人）

株式会社水戸京成百貨店の協力のもと、同百貨店の催事場に盲導犬に関する写真（撮影：小沼渉氏）を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。

2.5 「ローリー基金」との共同活動

本法人の支援ボランティアグループである「ローリー基金」の活動へ職員、役員、広報犬を派遣するなどして、同グループの活動の効果が向上されるよう図った。

2.6 資料配布

上述した機会において、日本の盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業の概要をまとめた資料「配布用資料」、並びに「協会だより（第6号）」（平成30年9月発行；平成31年度内に1000部増刷）を配布し、盲導犬育成事業への社会の理解がより深まるよう務めた。

3. 財源強化充実のための取り組み

広報活動を通じて個人、団体、企業へ支援の働きかけをおこなう他、安定した運営資金を確保するため街頭募金活動を頻回におこなうように努め、あわせて新規の募金活動場所の開拓をおこなった。結果、上述した広報啓発活動の機会におこなった募金活動も含め、合計で176回となった。

4. 寄附金の使途報告

ここでは平成30年度の寄付金・助成金のうち、具体的な使途の報告が条件であった寄附金・助成金について、その金額と使途について報告する。

- ・ かすみがうらマラソン大会実行委員会からの寄附金（498,475円）

以上の寄附金・助成金は、平成31年度に盲導犬候補、または繁殖犬候補として購入した4頭の子犬うち3頭（ラビィ、リン、ルーク）の購入費（500,000円）の大部分に充当した。

5. その他

5.1 理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
第1回	令和元年6月14日（金）	定時	令和元年6月14日（金）
第2回	令和2年3月17日（火）		
場所：以上全て本法人ひたちなか訓練センターにて開催			

5.2 人事・陣容

5.2.1 理事退任

福岡義明が令和元年度末をもって理事を退任した。

5.2.2 歩行指導員認定

次の2名を本法人の歩行指導員として認定した：鈴木裕司、水谷由美

5.3 インターンシップの受け入れ

近隣の高等学校より1名のインターンシップを受け入れた。

5.4 補助犬フォーラム

国の推進する「心のバリアフリー」（ユニバーサルデザイン2020行動計画）について理解をより深めるため、前年度に引き続き（公財）日本補助犬協会が開催する「補助犬フォーラム」に役員が参加し、知識の拡充に努めた。

5.5 他団体主催の行事等への参加（広報啓発業務以外）

助成金、目録等の受け取りや当会の自己紹介、挨拶をおこなう目的で、他団体の主催する行事に職員、または役員と広報犬が参加した。主な参加先は次のようである：ライオンズクラブの周年行事や例会、かすみがうらマラソン大会、仏寺主催の法事（常光院水戸精舎）

5.6 附属明細書

本報告書に補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。

以上、令和2年5月26日、令和2年度第1回理事会にて承認、同日、定時評議員会にて承認